

関東甲信越静地区印刷協議会『年次大会』
**10年ぶりの山梨県開催に
 向けて、着々と準備が進む！**

ACTIVE KUMIAI

山梨県印刷工業組合



10年前の本県での大会の様子

山梨県印刷工業組合（佐野龍一理事長）は、本年7月5日、6日に本県で開催される「関東甲信越静地区印刷協議会『第61回年次大会』」に向けて、着々と準備を進めている。この年次大会は、当協議会を構成する関東甲信越静10県の各印刷工業組合が一堂に会し開催されるものであり、本県では10年ぶりの開催となる。

年次大会では、各県の理事長で組織される「理事長会」や、当業界の各分野（経営革新・マーケティング、環境・労務、組織活性、教育・研修、CSR推進、官公需対策）のテーマについて話し合われる「分科会」に分かれ、各県の現状や課題、今後の対策について話し合う。その後、「全体会議」にて理事長会及び分科会にて取りまとめた内容について報告を行うことにより、現状や課題等についての共通認識を持ち、組織力を活かして国や各関係団体に対し、経営環境の改善等を訴えていく。

本組合では今回の年次大会に向け、一昨年の秋頃より準備を行っている。組合内に関プロ準備委員会を立ち上げ、執行部とともに打合せを進め、原案の取りまとめ、大会準備・運営の役割分担、案内資料の作成、大会会場の視察等を行っている。

本組合の佐野理事長は、「今回の年次大会のテーマを『富士の国山梨で、確認しよう印刷の底力。』とした。業態変革が進む中、あらためて印刷の魅力を再確認し、この山梨の地での大会が、当業界の更なる発展の源となるようなものになりたい。また、10年ぶりにこの山梨で大会が行われ、県外から多くの出席者がみえられるため、心を込めたおもてなしを行い、本組合の団結力を各県の方々に伝えたい。」と述べていた。



会場視察の様子